

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年7月30日 (2015.7.30)

【公表番号】特表2014-519960(P2014-519960A)

【公表日】平成26年8月21日 (2014.8.21)

【年通号数】公開・登録公報2014-044

【出願番号】特願2014-517248(P2014-517248)

【国際特許分類】

A 6 1 M 27/00 (2006.01)

A 6 1 F 13/00 (2006.01)

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 27/00

A 6 1 F 13/00 3 0 0

A 6 1 B 17/00 3 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月10日 (2015.6.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

組織部位を治療する減圧システムにおいて、  
分配マニホールドであって、

減圧を分配し流体を受け取る複数の流路を有する多孔質部材であって、第 1 面および組織に面する第 2 面を有する多孔質部材、

第 1 面および組織に面する第 2 面を有する流体透過性基板部材であって、前記多孔質部材の前記組織に面する第 2 面が、前記流体透過性基板部材の前記第 1 面に近接し、前記流体透過性基板部材の前記組織に面する第 2 面が表面積  $A_s$  を有する、流体透過性基板部材、および

第 1 面および組織に面する第 2 面を有する組織固定要素であって、前記組織固定要素の前記第 1 面が、前記流体透過性基板部材の前記組織に面する第 2 面に結合され、前記組織固定要素の前記組織に面する第 2 面が表面積  $A_t$  を有し、 $0.05 A_s < A_t < 0.7 A_s$  である、組織固定要素  
を備える分配マニホールドと、

前記分配マニホールドの上に配置されて前記分配マニホールドを収容する封止空間を生成する封止部材と、

前記封止空間に減圧を提供する、前記封止空間に流体結合された減圧源と、

前記減圧源からの減圧の影響下で、患者から流体を受け取る、分配マニホールドに流体結合された液体容器と、  
を具備することを特徴とするシステム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のシステムにおいて、前記分配マニホールドが、第 1 面および組織に面する第 2 面を有するリリースライナをさらに備え、保管状態で、前記リリースライナの前記第 1 面が、前記組織固定要素の前記組織に面する第 2 面に取り外し可能に結合されることを特徴とするシステム。

**【請求項 3】**

請求項 1 に記載のシステムにおいて、 $0.10 A_s < A_t < 0.5 A_s$  であることを特徴とするシステム。

**【請求項 4】**

請求項 1 に記載のシステムにおいて、 $0.20 A_s < A_t < 0.4 A_s$  であることを特徴とするシステム。

**【請求項 5】**

請求項 1 または 2 乃至 4 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、組織固定要素が、液体との接触の少なくとも 1 時間後に溶解する水溶性接着剤を含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 6】**

請求項 1 または 2 乃至 4 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、組織固定要素が、液体と接触すると少なくとも 10 分間残る水溶性接着剤を含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 7】**

請求項 1 または 2 乃至 6 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、組織固定要素が、水性液体との接触により活性化される接着剤を含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 8】**

請求項 1 または 2 乃至 4 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、組織固定要素が、液体と接触すると少なくとも 10 分間残り、液体との接触の少なくとも 3 時間以内に実質的に溶解する、水溶性接着剤を含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 9】**

請求項 1 または 2 乃至 4 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、組織固定要素が非水溶性接着剤を含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 10】**

請求項 1 または 1 乃至 9 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、前記分配マニホールドが、湾曲面に適應するように前記分配マニホールドと塑性変形する、複数の可鍛性部材をさらに備えることを特徴とするシステム。

**【請求項 11】**

請求項 1 または 1 乃至 10 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、前記組織固定要素が、接着剤のパターン化分布を含み、前記パターンが、複数の同心円、複数の正方形、複数の三角形、複数の円形、複数の隔置されたラインおよび複数のダイヤモンドのうちの 1 つを含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 12】**

請求項 1 または 1 乃至 11 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、前記流体透過性基板が織物層を含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 13】**

請求項 1 または 2 乃至 11 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、前記流体透過性基板が不織層を含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 14】**

請求項 1 または 2 乃至 11 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、前記流体透過性基板が有窓封止部材を含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 15】**

請求項 1 または 1 乃至 14 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、前記多孔質部材が、前記第 1 面に形成された複数の切欠きをさらに備え、前記切欠きが相対的に高い曲げ可撓性を提供することを特徴とするシステム。

**【請求項 16】**

請求項 1 または 1 乃至 15 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、前記多孔質部材が、力をオフロードする複数の成形された縁をさらに備えることを特徴とするシステム。

**【請求項 17】**

請求項 1 または 1 乃至 16 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、前記多孔質部材が

、矩形、正方形、三角形または円形のうちの１つを有するように成形されていることを特徴とするシステム。

【請求項 18】

患者の組織部位に減圧を提供する減圧システムで使用される分配マニホールドにおいて、

減圧を分配し流体を受け取る複数の流路を有する多孔質部材であって、第１面および組織に面する第２面を有する多孔質部材と、

第１面および組織に面する第２面を有する流体透過性基板部材であって、前記多孔質部材の前記組織に面する第２面が、前記流体透過性基板部材の前記第１面に近接し、前記流体透過性基板部材の前記組織に面する第２面が表面積  $A_s$  を有する、流体透過性基板部材と、

第１面および組織に面する第２面を有する組織固定要素であって、前記組織固定要素の前記第１面が、前記流体透過性基板部材の前記組織に面する第２面に結合され、前記組織固定要素の前記組織に面する第２面が表面積  $A_t$  を有し、 $0.05 A_s < A_t < 0.6 A_s$  である、組織固定要素と、  
を具備することを特徴とする分配マニホールド。

【請求項 19】

患者の組織部位に減圧を提供する減圧システムで使用される分配マニホールドを製造する方法において、

減圧を分配し流体を受け取る複数の流路を有する多孔質部材を提供するステップであって、前記多孔質部材が第１面および組織に面する第２面を有する、ステップと、

第１面および組織に面する第２面を有する流体透過性基板部材を提供するステップであって、前記流体透過性基板部材の前記組織に面する第２面が表面積  $A_s$  を有する、ステップと、

前記多孔質部材の前記組織に面する第２面を、前記流体透過性基板部材の前記第１面に結合するステップと、

第１面および組織に面する第２面を有する組織固定要素を提供するステップであって、前記組織固定要素の前記組織に面する第２面が表面積  $A_t$  を有し、 $0.05 A_s < A_t < 0.6 A_s$  である、ステップと、

前記組織固定要素の前記第１面を、前記流体透過性基板部材の前記組織に面する第２面に結合するステップと、  
を含むことを特徴とする方法。

【請求項 20】

請求項 19 に記載の方法において、第１面および組織に面する第２面を有するリリースライナを提供するステップと、前記リリースライナの前記第１面を、前記組織固定要素の前記組織に面する第２面に剥離可能に結合するステップとをさらに含むことを特徴とする方法。

【請求項 21】

請求項 19 に記載の方法において、 $0.10 A_s < A_t < 0.5 A_s$  であることを特徴とする方法。

【請求項 22】

請求項 19 に記載の方法において、 $0.20 A_s < A_t < 0.4 A_s$  であることを特徴とする方法。

【請求項 23】

請求項 19 または請求項 20 乃至 22 の何れか１項に記載の方法において、組織固定要素が、液体との接触の少なくとも１時間後に溶解する水溶性接着剤を含むことを特徴とする方法。

【請求項 24】

請求項 19 または請求項 20 乃至 22 の何れか１項に記載の方法において、組織固定要素が、液体と接触すると少なくとも１０分間残る水溶性接着剤を含むことを特徴とする方

法。

【請求項 2 5】

請求項 1 9 または請求項 2 0 乃至 2 2 の何れか 1 項に記載の方法において、組織固定要素が、水性液体との接触により活性化される接着剤を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2 6】

請求項 1 9 または請求項 2 0 乃至 2 2 の何れか 1 項に記載の方法において、組織固定要素が、液体と接触すると少なくとも 1 0 分間残り、液体との接触の少なくとも 3 時間以内に実質的に溶解する、水溶性接着剤を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2 7】

請求項 1 9 または請求項 2 0 乃至 2 2 の何れか 1 項に記載の方法において、組織固定要素が非水溶性接着剤を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2 8】

請求項 1 9 または請求項 2 0 乃至 2 7 の何れか 1 項に記載の方法において、前記分配マニホールドを湾曲面に適応するように塑性変形させるために、前記分配マニホールドに複数の可鍛性部材を関連付けるステップをさらに含むことを特徴とする方法。

【請求項 2 9】

請求項 1 9 または請求項 2 0 乃至 2 8 の何れか 1 項に記載の方法において、前記組織固定要素が、接着剤のパターン化分布を含み、前記パターンが、複数の同心円、複数の正方形、複数の三角形、複数の円形、複数の隔壁されたラインおよび複数のダイヤモンドのうちの 1 つを含むことを特徴とする方法。

【請求項 3 0】

請求項 1 9 または請求項 2 0 乃至 2 9 の何れか 1 項に記載の方法において、前記流体透過性基板が織物層を含むことを特徴とする方法。

【請求項 3 1】

請求項 1 9 または請求項 2 0 乃至 2 9 の何れか 1 項に記載の方法において、前記流体透過性基板が不織層を含むことを特徴とする方法。

【請求項 3 2】

請求項 1 9 または請求項 2 0 乃至 2 9 の何れか 1 項に記載の方法において、前記流体透過性基板が有窓封止部材を含むことを特徴とする方法。

【請求項 3 3】

請求項 1 9 または請求項 2 0 乃至 3 2 の何れか 1 項に記載の方法において、前記多孔質部材の前記第 1 面に複数の切欠きを形成するステップをさらに備え、前記切欠きが相対的に高い曲げ可撓性を提供することを特徴とする方法。

【請求項 3 4】

請求項 1 9 または請求項 2 0 乃至 3 3 の何れか 1 項に記載の方法において、前記多孔質部材が、力をオフロードする成形された複数の縁を備えることを特徴とする方法。

【請求項 3 5】

請求項 1 9 または請求項 2 0 乃至 3 4 の何れか 1 項に記載の方法において、前記多孔質部材が、矩形、正方形、三角形または円形のうちの 1 つを有するように成形されていることを特徴とする方法。